

1・2年保護者進路講演会

11月11日

11月11日（金）、「親子で乗り切る大学受験」と題して、河合塾広島校校舎長 毛利美佳様による保護者対象進路講演会が行われました。プレゼンテーションルームが満席になるほど多数の保護者の方にご参加頂き、関心の高さをうかがい知ることができました。

毛利様からはまず、大学入学者選抜改革の影響による大学入試問題の出題傾向の変化についてお話がありました。知識を問う問題だけでなく、「答えのない問い」について考え、考えたことを表現する（時には、英語で）問題が増加しています。こうした問題に対応するには、普段からいろいろなことに興味関心を持ち、それについて自分の考えを持つことが必要です。そのために、日常のご家庭でニュースなどを話題にし、お子様とコミュニケーションをとることを心がけると良いというアドバイスを頂きました。

また、合格する生徒は「絶対にあきらめない生徒」であり、当たり前のことを当たり前に行い、努力を積み重ねていける生徒であるというお話もありました。普段の授業を大切に、予習復習を確実に、定期試験や模擬試験をうまく活用することが、合格に繋がっていきます。

受験は、受験生のみならず、それを見守る保護者の方も心配や不安が尽きないものです。心配のあまりつい、「勉強なさい」「そんなことでは駄目だ」などと言ってしまいがちになりますが、そういった声かけはストレスを抱えた受験生には逆効果になりかねません。

「こんな難しい問題に取り組んでいるんだね、すごいね！」など、お子様の受験に関心を持っていることを示す声かけが効果的ということです。また、ネガティブワードをポジティブワードに置き換えて声かけをすることも大切です。お子様とたくさんコミュニケーションをとること、お子様を信じて、関心はもちつつ過干渉にならぬようにすること、保護者が動じることなく「何かあれば一緒に考えるから大丈夫！」という姿勢でいることが受験生を持つ親の心構えである、ということでした。さっそく今日から実践し、受験というハードルを親子で乗り越えていけたらいいですね。



「脱過干渉！ ポジティブな声かけと家族間の会話を大切にして、親子で受験を乗り切ろう！」
がんばろう、美高！！